



### ZOO医師のお仕事

「獣医さん」って聞いて、みなさんはどんなお仕事を思い浮かべますか？

きっと、“まちなかにある動物病院の先生”というイメージが強いと思います。



獣医師と一口にいっても、本当にたくさんのお仕事があります。

動物病院で犬や猫を診療する獣医さん、農家に出向いて牛や豚を診療する獣医さん、感染症が起こらないように検査をしている獣医さん、薬の開発実験を行う獣医さん、獣医学について研究する獣医さん…

※詳しくは、<http://careergarden.jp/jyuuishi/work/>

さらに難しく詳しくは、<http://nichiju.lin.gr.jp/work/index.html> (公益社団法人 日本獣医師会)

を見てみてください。

実は、獣医師と一口にいってもキリがないほど、たくさんのお仕事があるんですね～

私の大学のお友達・先輩・後輩もいろーんなどころで、いろーんな獣医さんをしています。

私が動物園で獣医師としてお仕事をしているように、多くの動物園に獣医さんがいます。

今日は、動物園の獣医師＝“ZOO医師”のお仕事について、少しご紹介！

まずは、獣医さんといえば、イメージ通り、調子の悪い動物の診療・治療です。



こんな風に、全部の動物にべたべた触って、検査や治療ができればいいのですが  
動物園にいる動物は、ライオンやトラ、ゾウ、チンパンジー、サイ、キリン…

気軽に近づいたり、触ったりしたら…噛み切られ、踏み潰され、握りつぶされ、蹴り飛ばされてしまいます。

そのため、日頃からトレーニングや見回りを通して、動物たちと関係をつくっておくことが大切になります。



(たまにおいしいものをあげることも、仲良くなるためのコツ！)

そして、その関係ができれば、健康チェック！  
ケガはしていないかな？爪は伸びすぎているかな？虫歯はないかな？  
毛並みはどうか？表情や動きはどうか？



日頃からチェックすることで、病気やケガの早期発見・予防につながります。

日頃からチェックできることは他にないかな…？

それは、うんち！！

※お食事中の方、失礼いたします。

うんちは健康のバロメーターです。

形・色・硬さ・におい・顕微鏡での検査など、

自分からは訴えてくれない動物たちの健康を知る重要な手がかりです。



(チンパンジーのうんち！色も硬さも個体差がとてもあります！)



(うんちを顕微鏡でのぞくと…細菌や寄生虫が動く様子やがみえます)

この“糞便検査”も、病気の予防・早期発見につながります。

いったん病気になってしまった動物、大ケガをしてしまった動物を元気にするのは一苦労。

(というのも、私はまだ凄腕の獣医にはなれていないもので…)

ってことは病気にさせない、ケガをさせない=予防・早期発見が、動物を救うための一番の近道だ――！

と、この一年で強く思うようになりました。

そのため、私が究極に目指しているのは、“獣医のいない動物園”です！！

(首になりたいわけじゃありませんよ。)



でも実際は、かみね動物園には3人の獣医師がいても、毎日てんてこまい・・・

園内にいる動物みんなが、

- ・常に健康な状態をキープできていること
- ・治療の前に、予防で事が済んでしまっていること

が理想・目標だと思います。

その生き生きとした動物たちの姿を一人でも多くの方に伝えたい、



伝えられたら、現地で問題を抱える野生動物たちに思いを馳せてもらいたい



そしてみんなで快適に暮らせる地球を目指そう！！！！



というのが私のたくらみです。ひひひひひひっ

\*\*\*\*\*  
\*\*

先日、日立市のケーブルテレビJWAYの番組で、このようなお話を「かみね動物園の獣医のお仕事」というテーマで取り上げていただきました。

つたない？冷たい？やさくれた？シオ対応の私に2ヶ月ほど寄り添い、丁寧な番組を作ってください、大感謝です。

私をみて！！ということではなく、動物園の新米獣医としてどんな風にお仕事をしているか、みていただけえたら嬉しい限りです。

Youtubeにアップして下さったそうなので、ぜひご覧ください♪

[日立市]ドキュメンタリー～かみね動物園 獣医のしごと～  
<https://www.youtube.com/watch?v=XIZHIXrET4I>

\*\*\*\*\*  
\*

という、結局は宣伝なブログでした。  
あ、ZOO医師としての仕事は、他にも山ほどあります。

野生動物の保護、死んでしまった動物の原因究明、剥製・標本づくり、園内イベントや教育普及活動、動物の移動や血統登録の事務…については、またいつか～

(完全にテレビ負けしているのでこれから頑張るよ 獣医・あきば)

2016年11月13日



## 単調でないタンチョウの暮らし～その3～

コンクリ床の狭い場所で単調な生活を送っていたタンチョウ。

ある日、めちゃくちゃ可愛い女の子が契約結婚の申し出をしてくてから彼の暮らしは一変します。

笑いあり涙ありのムズキュンブログが始まりますよ！

砂を入れる編

[www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/inoue/p054165.html](http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/inoue/p054165.html) (新しいウインドウが開きます)

砂山にエサ編

[www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/inoue/index.html](http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/staff/inoue/index.html) (新しいウインドウが開きます)

前回のブログはこちらを紹介するという話で終わっていました～。



さて、これは一体なんでしょう？

お客さんだけでなく園長や飼育員にも聞かれました。「これ、何？」

中には巣だと思ってお客さんもいらっしやいましたが、巣ではありません。



<豆を積み重ねた「二オ」 (北海道愛別町の畑) >

実はこれ、「二オ」と呼ばれています。

タンチョウたちが暮らす北海道ではコーンや豆などを畑で収穫した後にその場に重ねて積んでおくことがあります。こうしておく事で乾燥させるのだそうです。

北海道では季節によってこの「ニオ」のある風景がよく見られます。  
雑食性のタンチョウはこれらを食べるために畑に降りてついばみます。  
特に食べ物を探すのに厳しい冬の時期はこういった「ニオ」が命をつなぐための貴重なエサとなる場合があるのです。

現在では小学生たちが学校の校庭にこれをつくりタンチョウの給餌場として使ったりもしています。



さて、かみね動物園はデントコーン（※家畜の飼料用のとうもろこし）の「ニオ」をイメージして作りました。主にススキの葉でできているため、食べられるような実がついていません。

そこで固形飼料などを葉と葉の間に付けて給餌しています。



つんつん突いてますねー。



探しています。

歩きながら地面をつついてエサを探するのが主ですが、現地北海道ではこのような姿も見られるとの事。

皆さんにタンチョウたちの北海道での暮らしを少しでも知ってもらえたらいいなあーと思っ

て作ってみました。

実は私本物の二オを突くタンチョウ見た事ないんです（オイ）。

こんな感じなのかなあ。いつかちゃんと現地に見にいかねばなりませぬ。

～おまけ～

前回のブログでタニシを食べるタンチョウの画像を載せてませんでした。



くわえる



落とす



くわえる





落とす。

ひたすらこの繰り返しです。

タニシはその形状がどうも掴みづららしく、くわえては落としてを繰り返して、納得のいく向き(?)で殻ごと飲み込んでいます。

見てる方からすると「ああ!じれったい!」という感じなのですが、食べづらいんでしょうね～。でも彼らの好物らしく、与えると他のエサそっちのけで食べます。



ごっくん!

(飼育員 逃げ恥にハマるいのうえ)

2016年11月8日

---

## 過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)